

ご挨拶

新たなイノベーション創出モデルを地域社会に還元

この度、山形大学国際事業化研究センターは生まれ変わりました。従来のミッションである「新産業の創生並びに既存産業の価値向上」をさらに加速させ、最も重要なミッションとして「新たな価値創造(イノベーション)」を継続的に生み出していきます。

現在、産業のグローバル化の拡大により、国際競争は更に激化し、従来の産業構造が大きく変化しています。今後、地域産業が発展していくためには新たな価値創造(イノベーション)を生み出していく必要があります。当センターでは、山形大学が持つ技術シーズや社会課題解決のための知見を有効に活用し、いち早く事業化(ベンチャー)、ならびに企業への技術移転の促進による地域社会の活性化、雇用促進に貢献して参ります。さらに地域課題を解決するための実践プログラムの推進、起業家の人材育成も行って参ります。

私が市場で実践してきたイノベーション創出モデルを地域社会に還元し、山形を世界から必要とされるイノベーション創出の産業地域(21世紀型シリコンバレー)に変革させていきたいと考えております。世界をリードする地域・大学を目指して事業を進めて参ります。当センターの諸活動にご理解いただき、ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



山形大学 国際事業化研究センター長
教授 **小野寺 忠司** Tadashi Onodera

元NECパーソナルコンピュータ株式会社 執行役員兼
Lenovo Executive Director。
パソコンの企画・開発部門を統括し、NECノートパソコンの基盤を作る。
平成29年4月より、現職。

ネットワーク

最上サテライト (山形県最上総合支庁管内)
〒996-0002
山形県新庄市金沢字大道上2034
TEL.0233-29-1063 FAX.0233-23-2628

庄内サテライト(鶴岡キャンパス内)
〒997-8555
山形県鶴岡市若葉町1-23/総務課

コワーキングスペース“C&Cひがしね” (さくらんぼ東根駅舎内)
〒999-3720
山形県東根市さくらんぼ駅前1丁目1-1
TEL・FAX.0237-53-6996

山形サテライト(小白川キャンパス内)
〒990-8560
山形県山形市小白川町1丁目4-12
人文社会科学部3号館3階

東京サテライト
〒108-0023
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター609号室

工学部荒川サテライト (荒川区役所6階産業経済部内)
〒116-0002
東京都荒川区荒川2丁目2-3
TEL.03-6806-7901 FAX.03-6806-7902



国際事業化研究センター (米沢キャンパス内)
〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16
TEL.0238-26-3480 FAX.0238-26-3633

アクセス

お車をご利用の方

東京	東北自動車道 約260km	福島JCT	東北中央自動車道 約30km	米沢
仙台	東北自動車道 約68km			

新幹線・電車をご利用の方

東京	山形新幹線 約2時間	米沢		
仙台	東北新幹線 約25分	福島	山形新幹線 約30分	米沢

高速バスをご利用の方

仙台	約2時間	米沢
東京	約5時間	米沢

キャンパスマップ



- ROEL** 有機エレクトロニクス研究センター
- GMAP** グリーンマテリアル成形加工研究センター
- FROM** 有機材料システムフロンティアセンター

周辺マップ



- INOEL** 有機エレクトロニクスイノベーションセンター
- SMART MIRA HOUSE** 未来工房 スマート未来ハウス
- YBSC** 有機材料システム事業創出センター



山形大学国際事業化研究センター

Business Research Institute for Glocal Innovation



目標に向けて積極的に 実行できる人材育成

ミッション 存在意義

山形大学が持つシーズを基に「知」の創造による新産業の創生と既存産業の価値向上に向けた支援活動を実施し、山形大学を核とした世界に注目される地域づくりに貢献する。

ビジョン 将来の姿

技術シーズ、課題解決ソリューションを活用した世界に発信できるイノベーション創出を継続的に行い、産学官金で連携した地域に根付いたエコシステムの構築を目指す。

国際事業化研究センター

山形大学6学部を横断的に支援するセンターであり、学部間の共同研究・連携強化を推進し、山形大学ならではのイノベーション創出に向けた活動を実施する。
(2009年10月1日、「地域共同研究センター」と「ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー」を統合し「山形大学 国際事業化研究センター」を設立。)

「旧米沢高等工業高校本館」
1910年(明治43)3月に開設された全国7番目の高等工業学校
1944年(昭和19)4月に米沢工業専門学校と改称
1949年(昭和24)5月の学制改革によって山形大学工学部に改組
1973年(昭和48)6月に国の重要文化財に指定

先駆的な支援で成果を重視する 山形大学 国際事業化研究センターの取組み

1 起業家教育支援

～起業家マインドを有する尖った人間の育成～

①「EDGE-NEXT」起業家育成プログラム実施

(文科部科学省「EDGE-NEXT: 次世代アントレプレナー育成事業」)

自分の目標に向けて積極的に実行できる人材、独創的なアイデアを持ち「グローバルリーダー」、「地域貢献」を自ら体現する人材を育成。

②産学官連携による起業家育成事業・イベント実施

企業、行政(県・市町村)、大学連携により、起業家を育成する事業、イベントを実施し、地域に根差した教育を実施。

③中・高・大学連携による起業家マインド醸成

将来の事業の担い手となる若者に対し、中・高・大学が一丸となり起業家マインドを育成、起業への興味を喚起。



2 研究事業化支援

～技術シーズの発掘、研究育成、事業化を支援～

①技術シーズと顧客ニーズのマッチング支援

技術シーズを発掘し、顧客ニーズ・課題から解決ソリューションを創出。顧客価値を創造し、企業との共同研究・受託研究を推進。

②研究プロジェクト支援

研究プロジェクトスペース活用による実用化を目指す研究育成を支援。

③社会実装に向けた事業化支援

インキュベーション施設活用 など、研究シーズの事業化を支援。



3 リーン・マネージメント支援

～持続可能な企業をつくるため
科学的に企業利益の拡大を支援～

①リーン・マネージメント・インストラクター育成

企業の利益を大幅に拡大する方法を科学的に追及できる人材の育成。

②クリエイティブ・マネージメント支援

インストラクター活用による企業支援を行い、生産性向上、収益UPに貢献。

③リーン・スタートアップ支援

新しいビジネスモデル、新事業創出を支援。



山形大学のミッション

- 3つの使命
 - 地域創生
 - 次世代形成
 - 多文化共生

5つの基本理念

- 学生教育を中心とする大学創り
- 「知」の創造
- 普段の自己改革
- 豊かな人間性と高い専門性の育成
- 地域創生及び国際社会との連携

山形大学 各学部

- 人文社会科学部
- 医学部
- 地域教育文化学部
- 工学部
- 理学部
- 農学部

関連施設

※有機材料・有機エレクトロニクス研究施設

基礎・先端研究

ROEL

有機エレクトロニクス
研究センター

GMAP

グリーンマテリアル
成形加工研究センター

応用研究

FROM

有機材料システム
フロンティアセンター

実証研究

SMART MIRAI HOUSE

未来工房
スマート未来ハウス

実用化研究

INOEL

有機エレクトロニクス
イノベーションセンター

事業化・社会実装



YBSC
有機材料システム
事業創出センター

基礎・先端研究から、事業化・社会実装までのイノベーションを推進